

オオアブノメ	<i>Gratiola japonica</i> Miq.	絶滅危惧Ⅱ類
(環境省:絶滅危惧Ⅱ類)		ゴマノハグサ科
選定理由	既知の生育地で生育の条件が明らかに悪化しており、個体数が大幅に減少している。	写真(清水英彦)
形態の特徴	茎の高さ10-20cmで柔らかい1年草。葉は対生しやや肉質。披針状長楕円形で柄が無く先は尖る。花期は5-6月。白色・筒形で長さ4-5mmの花を葉腋ごとに1個ずつつける。蒴果は球形で径3-4mm。	
生態的特徴	水田や湿地にはえる。	 
分布状況	本州(宮城県以南)、九州、朝鮮、中国(本土、東北)、ウスリーに分布する。県内では県南の南部に生育する。	
減少要因	本種の分布域は県南の南部に限定されており、もともと生育個体数も少ない。また、その再生産能力を上回る採取圧に曝されている。	
保全対策	生育地を公表する必要がある場合は、生育場所を特定することのないような配慮が必要である。また、生育地の保全に配慮が望まれる。	
特記事項		
参考文献	佐竹義輔ほか編「日本の野生植物 草本Ⅲ」平凡社(1982)	

文責:佐藤和良